

インターナショナル ビーズビエンナーレ ひろしま 2020 公募展 審査員からのコメント

広瀬光治 / ニットデザイナー

この度のビーズビエンナーレも目を見張るような作品が集まり大変嬉しく思っております。立体的な作品、ビーズの可能性を見せていただけるような作品を見せていただきました。また、海外からの参加もあり、世界への広がりを感じました。ビーズの世界、手て物を作る手ということの大切さがもっと多くの方に伝わることを願っています。そして、このビーズビエンナーレが多くの方の参加とともに広く大きくなることを願っています。

君島 龍輝 / 版画家

ビーズビエンナーレ出展作品の変化に驚喜した。コスチュームジュエリーにアートを併設した本展の目的はシードビーズの特性を活かした至高芸術の誕生である。アート部門は発想と技量を、コスチュームジュエリー部門はファッション性の高さを、共に共鳴し演出している。既に目標の達成感はある。しかし、海外からの出展者も回を重ねる度に増え、世界に周知された今、更なる優れた作品に出会うことを楽しみにしている。ありがとう！

高橋 良子 / 文化学園大学ならびに和洋女子大学 非常勤講師

今回は、両部門ともに、力作ぞろいで作品のレベルの高さに驚きました。その中で賞に入られた作品は、審査員たちの目が、いくつかの同じ作品に集中しました。それは、どこか心惹かれる魅力のある作品でした。また、コスチュームジュエリーは、身につけて審査しましたが、身に付けやすく、作品で見ているとき以上に、着装すると魅力が一層増すものでした。見る人に夢を与え感動させ、心を躍らせるような作品作りを目指してください。

大工原 睦 / 文化服装学院 専任講師

「ビーズ」という同一の素材でありながらも、それぞれの作品が非常に独創的で、作者の方々の想いやストーリーを感じるものばかりあり、審査をしていてとてもトキメキました。それと共に、ビーズの奥深さと可能性をたくさん感じる事ができました。「A beautiful green earth」は、パーツのセレクトや、バランスの良い配色で、ボリュームがありながらも、身につけたときに美しく、身体のラインに沿う工夫と開閉部までしっかりこだわりのある作りが印象的で、特別賞とさせていただきます。

周藤 紀美恵 / ビーズアーティスト

どの作品もそれぞれのストーリーや思いが詰まっているものが感じられました。作品作りに取り組む人達の姿勢、そして完成させるまでには、沢山のハードルと試行錯誤の連続そして情熱がないと完成にたどりつけないことはよく解っています。それは同じ作り手として尊敬の念しかありません。

その中でも大賞のイスクラさまのスプリングガーデンは、見ているだけでも幸せ包まれたエネルギー感じ、細部まで計算されたグラデーションの様子は圧巻でした。まさに、「美と愛と平和」のテーマにぴったりと感じました。特別賞の小倉美江子さまのストロベリーは、身につけてみることで、見た目では判断できない工夫が感じられ、盛ると引くのバランスが絶妙で心を奪われた作品でした。どの作品もそれぞれの創意工夫と私自身もパワーをもらいました。今後の皆様の活躍を願い、私も一緒にビーズライフを楽しんで行きたいです。ありがとうございます。

山田恵美 / ビーズアーティスト

海外からの応募もありアート部門、コスチュームジュエリー部門とデザイン、テクニックと素晴らしい作品ばかりの審査となりました。その中からアート部門《HAPPINES BAG》を特別賞とさせていただきます。創作の刺繍バッグで作品名通り『幸せ』を運んでくれそうな作品です。両面に刺繍されたモチーフは、一つずつに意味があり作り手の思いが伝わった作品です。持ち手の部分が笑った時の唇を思わせるような感じになっていて思わず笑顔になりました。

高木 洋恵 / ビーズアーティスト、アドバンストデザイナー

職人さんが心を込めて作られた美しいシードビーズ達。これらを一粒ずつ手に取り、形にすることでビーズで作られた芸術作品に生まれ変わります。言葉は通じなくても国家を超えて、人々の心を繋ぐ力になります。大賞作品の<Gratitude for the Beauty of Our Planet Mandala #1 spring garden>は、円形による安心感と安定感。ビーズ一粒一粒の美しさが観た人の心を愛で慰めてくれる力を感じました。特別賞には、<藍(愛)の花を咲かせましょう>を選ばせて頂きました。素材の一つに組紐が使われていて、結びとつながりを美しく表現されていました。皆様の想いをのせた作品達は、コロナ過で塞ぎがちな人々の心を癒してくれると思います。

山仲 巖 / トーホー株式会社 代表取締役

今回で第4回目となりました、インターナショナルビーズビエンナーレひろしま2020。今回は、2020年東京オリンピックと同時開催として、広島県の世界遺産宮島での展示会を企画していたのですが、残念ながらコロナウィルスの世界的な拡大で見合わせざるを得ないこととなってしまいました。

今回は、一年遅れではありますが、審査を行い、世界中のビーズアーティストから素晴らしい作品を目の当たりにして、ビーズアートが産み出す底知れぬパワーを感じざるを得なかったです。世界的なパンデミックの渦中ではありますが、いにしえの昔から人間とは切っても切れない関係であるビーズが、人間に与える力を、ビーズアートを通じて示しているようでした。世界中のグラスビーズアーティストがおりなす、世界中の世の中を明るく照らす作品を皆様に感じていただきたく思います。